

特定非営利活動法人大阪マスターズ陸上競技連盟
2024年第43回理事会 議事概要

■開催日時 2024年7月9日(火) 18時30分～20時40分

■開催場所 難波市民学習センター 第4研修室
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4階

■理事会総数 23人

■出席者数 19人(本人出席17人、議決権行使者:2人) 出席監事 2人

【会長】 椎木 茂久
【副会長】 山中 保博
【専務理事】 井指 康裕
【常務理事】 安達 芳恵、 池上 健三、 小西 宏之、 坂下 勝正、 柴田 秀治、
 並川 耕士、 深尾 真美、 藤田 幸久、 三宅 要、 村井 正信
【理事】 糸原 一輝、 大倉 節子、 大野 鐘三、 数野 哲也、 熊取谷信子、
 津田 光央、 鶴川 久壽、 早川 禎一、 升田 昭、 森井 正和
【監事】 中島 静一、 福本 康史

(注) ; 出席、 ; 欠席。氏名の下線は議決権行使者。

■議案の経過要領および議案別議決の結果あいよう

第1号議案 2024年度の事業運営について

議長が、理事会資料(含む参考資料1、参考資料2)に沿って報告及び提案した。

1. 審判構成では、投てき、跳躍の審判が集まりにくく競技運営に支障をきたしている。学連審判員の派遣要請に対しては、(何人必要か)競技会3週間前に依頼する。それを受けて議長が意見要望等を募ったところ、次のような質問がなされた。これに対する質疑応答の結果は以下のとおり。
Q. 用器具担当に(ハードル等設置に人員を要するので)他の審判が兼務できないか。
A. 今後検討し、兼務できるよう調整する。
2. 上陸システムを用いた競技運営にあたり、担当者が不在でもトラブル対応できるように体制を整えたい。
3. 業務体制の見直しについては、Googleのアプリを利用、クラウド管理により一極集中から分散型に移行させたい。なお、グーグルフォームを活用した競技会のエントリーにあたっては、大阪マスターズ会員を対象に試行実施し、来年度以降の本格的な導入を検討する。
4. 全日本マスターズ・京都大会のリレーメンバー選考については津田理事に取りまとめを依頼していたが、結果、8チームがエントリーした。リレー競技を盛り上げるため、第12回大阪マスターズ陸上でも実施できるよう準備をすすめている。
5. 次年度以降の全日本マスターズのリレーメンバー選考についても、津田理事に取りまとめを依頼することになるが、早めの声掛けを行い、女子チームも次年度以降エントリーできるようにしたい。
6. 審判の弁当、謝礼の支払い方法については現行方式を継続する。
7. 事務局体制については、応対時間について事務所出勤時間とする。対応のためにHP等を利用し会員あて告知を行う。

これらの論議を受けて、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第2号議案 2024年度の理事の担当業務について

議長が、理事担当業務(案)及び参考資料②に沿って説明、提案し、今後の方向性を明確にした。
これに対し、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 その他

議長が、理事会資料に沿って報告及び提案した。

これを受けて、議長が意見要望等を募り、質疑応答の結果は以下のとおり。

来年度以降、8月の研修会については、10、11月での実施時期を検討する。

800mは、現在オープンスタートで実施されているが、セパレート方式にしてはどの提案があり、今後、参加者数等も考慮する中で検討していくことになった。

シューズ規定を含めたルールの改正の周知については今後検討していく。

これに対し、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。